

# ロック・フォーク・邦楽・ねぷた囃子…

# 街に多彩な音、リズム



弘 前

音楽で学生と市民らが交流するイベント「音楽の祭日」が12日、弘前市土手町の蓬萊広場とまちなか情報センターで初めて開かれた。弘前大学の学生でつくる実行委員会が主催。ロックやフォーク、邦楽など幅広いジャンルの音楽が中心街にあふれ、買い物客らが耳を傾けた。

## 弘大生「音楽の祭日」活況

(佐藤彩乃)

フランス発祥の「音楽の祭日」は、プロ・アマチュアを問わず、無料で楽しめる音楽イベント。

市内にフランス料理店が多い点など、同市とフランス文化とのつながりに興味を持った学生たちがイベントを開き、22団体が出演した。

蓬萊広場の特設ステージでは、弘大囃子(はやし)組が弘前ねぷたや青森ねぷたのはやしを威勢良く演奏し、観客も一緒にハネトのステップを踏んでいた。市内の奈良千枝さん(34)は「たまたま通りかかって聞いたけ

躍動的な祭りばやしで会場を沸かせた弘大囃子組

ど、聞き手を巻き込んだ。木柘輝さん(弘大文学部4年)は「大学生がもっと街を知って、街に出て行かないになれば」と話した。

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。